

# 令和元年度 第1回 栄養部会研修会レポート

記載者: JCHO下関医療センター附属介護老人保健施設  
管理栄養士 永村良子

日時 令和元年 7月 31日 水曜日 10:30 ~ 14:00

会場 山口県セミナーパーク 一般研修室202

## 研修内容

### 講演1

10:30 ~ 12:00

### 「在宅での食生活を安全かつ快適に続けるために」

医療法人和同会 宇部リハビリテーション病院  
栄養部主任 田辺のぶか 先生

医療、介護、在宅をいかにシームレスに栄養支援していけるか、医療現場・在宅での支援の症例を各々の立場で示されご提案を頂いた。

山口県の高齢化率は全国 4位であり、3人に1人が65歳以上と超高齢化の県となっている。

病院勤務の傍ら栄養ケア・ステーションで在宅の栄養支援にも取組まれ病院での栄養指導及びその後の在宅支援の在り方を模索されている。

急性期・回復期・施設から在宅への過程がスムーズに運んでいるか、在宅で見直し・変更が行われていないか注意する必要があると話される。

30年4月の介護保険法改正に在宅支援が明示され、老健は在宅復帰、在宅療養支援のための地域拠点となる施設となっている。

老健栄養士のみならず、全ての栄養士に期待されることは、家族に寄り添い、最期まで口から食べられ、悔いのない療養生活を送って頂けるように支援することである。そのためには多職種協働で医療・介護・在宅のシームレスな栄養支援を行い、笑顔・優・信頼のある求められる栄養士となって頂きたいとエールを送られた。

私達は、どんな時にも頼られる老人保健施設の栄養士として研鑽に励みたい。



講演2 13:00 ~ 14:00

### 「在宅栄養管理における食品の試食と試飲」

(株)クリニコ 山口営業所 山口地区リーダー 岩崎良祐 先生

老健においては、通所及び在宅復帰のご利用者様へ低栄養や状態維持のための栄養支援を期待されている。免疫力の向上への期待等を織り交ぜ、栄養補助食使用の効果等話された。最近注目されている乳酸菌のNK細胞への効果、BCAAを多く含む蛋白質の摂取により筋タンパクの合成を促進することなど、高齢者のみならず、一般の方にも有益なことを説明された。又、夏場や運動・発熱における脱水予防のための水分補給ゼリー等の紹介もされた。

その後、栄養補助食の試飲試食を行った。

意外と美味しいと参加者に好評であり、各施設で使用を考へたり、ご利用者に紹介してみたいと話していた。

栄養士は、先ず普通の食事の工夫で栄養状態を改善維持し、状態に応じて、適切な栄養補助食を様々な場面で対応提案出来るようにあらゆる手段を講じたい。



試食風景